

JAMトピックス

JAM第43回中央委員会

賃金改善分

春闘要求方針 12000円基準決定



能登半島の復旧・復興、春闘勝利、「郡山りょう」必勝に向け団結してガンバロー

JAMは1月19日第43回中央委員会を東京・連合会館で開催した。中央委員、役員・地方書記長・傍聴など計228人が参加し、一般活動報告、会計中間決算報告・監査報告と4本の議案それぞれを満場一致で確認した。

冒頭、JAM安河内会長は「能登半島地震で亡くなられ被災した皆様に心よりお悔やみとお見舞いを申し上げ、一日も早い復旧・復興をご祈念申し上げます。ボランティア活動も状況が整い次第対応したい。中小製造業を取り巻く環境が極めて厳しい状況である。価格転嫁は未だ道半ばであり、人手不足はより深刻さを増している」などあいさつした。

今春闘は、物価上昇に負けない賃上げ、実質生活の維持・向上を求め確実な結果を出す必要がある。あるべき賃金水準にこだわり、前年を超える賃上げと価格転嫁の取り組みを展開。「労働」と「製品」の価値が正しく評価される「価値を認めあう社会へ」の実現をめざす運動を推進する。

賃金要求の考え方として、賃金改善分を確保した上で、所定内賃金の引き上げを中心に、単組の課題を積み上げ12,000円を基準と

し、実質賃金の維持・向上と格差是正に資する「人への投資」を要求とする。

一時金は年間5ヶ月基準または半期2.5ヶ月基準の要求とする。

統一要求日は、2月20日(火)、統一回答指定日を3月12日(火)・13日(水)とする。

来賓として、JCM・金属労協から金子晃浩議長、森本真治参議院議員、村田享子参議院議員と郡山りょうからあいさつを受けた。



全国巡回の近況報告などあいさつした郡山りょうJAM組織内候補予定者(左)

激励に駆け付けたJAM準組織内議員村田享子参議院議員(中)、森本真治参議院議員(右)